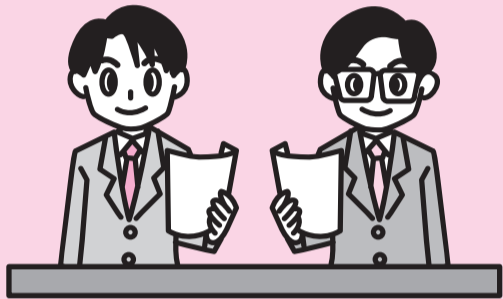


一般質問から

平成24年第2回定例会の一般質問は、6月15日、18日、19日の3日間にわたり、17人の議員が52項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは、8月下旬に更新予定のホームページをご覧ください。

*議員名の上の番号は、議席番号を示しています。



三愛石油屋外貯蔵タンクについて

Q 東日本大震災後、大地震の被害想定が見直しされています。三愛石油屋外貯蔵タンクの現状と課題についてお聞きします。

18番 鹿野 泰司
平成29年3月へと改められています。消防本部には、三愛石油から「新基準適合調査・工事計画届出書」が提出され、改修工事は平成28年3月から翌年3月とされています。

A 三愛石油株式会社には、ガソリン3基・軽油2基・灯油2基・重油1基の屋外貯蔵タンクが設置されています。

これらのタンクは、平成11年度から「準特定屋外タンク貯蔵所」と位置づけられ、耐震性の向上を図る目的で技術基準が強化され、それに適合させるよう求められています。改修期限は、当初平成32年でしたが、現在は

当初平成32年でしたが、現在は

綾瀬川左岸の遊歩道環境整備について

Q ①遊歩道の有効活用として休憩所の設置や花植えスペースの整備などの検討について②遊歩道は、夜間は照明がなく暗い場所となります。利用者の安全・安心の観点から照明灯設置の検討について。

16番 吉田 準一

①遊歩道の有効活用として休憩所の設置や花植えスペースの整備など、空地部分の有効活用について検討してまいりたいと考えております。

A ①綾瀬川遊歩道には、ベンチ等の休憩施設がなく、地域住民より要望が寄せられていたことから、江戸川河川事務所と協議を重ね、平成23年度に空地部分にベンチ三か所を設置したところです。今後につきましては、水と緑のネットワークの形成による魅力ある遊歩道の

②今後、江戸川河川事務所と協議を行いながら、利用者の安全・安心が確保されるよう照明灯設置に向け検討してまいりたいと考えております。



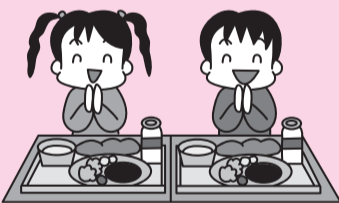
学校給食食材の放射性物質測定について

Q 東部給食センターが自ら測定することについて、昨年からは毎議会取り上げてきましたが、前議会後の状況について

10番 郡司 伶子

A 前議会終了後に独自で放射性物質測定を行うよう求めてきました。その結果市で購入した測定機器と同様のものを発注し、6月末に納入される予定と報告を受けています。検査開始時期は、測定テストなどを行った上で検査体制が整い次第開始することです。2学期から実施されると思われます。測定については、教育委員会の「学校給食食材の放射能濃度測定

検査運用マニュアル」を参考に実施方法を検討する。今後も安心して食べられる給食を提供できるように、委託業者の東部給食センターへの管理指導と連携強化を図ってまいります。



公共施設とインフラの老朽化への対応について

Q 高度経済成長期に建築整備された、公共施設とインフラの老朽化が数年で建築後50年になり、一斉に老朽化が進んでいます。公共施設として道路や橋梁又、上下水道などインフラ崩壊の危機が顕存化するという現状の中、持続可能なまちの形態を本市として、どのように把握をされ、更新の計画をされるのか。お尋ねをいたします。

13番 小倉 順子

とは大変厳しい状況が予想されます。そのため各課が対応している修繕や改修の計画を全庁的かつ総合的な視点で優先順位を付け、選択と集中による資源の効果的な活用や施設の複合化など多面的な検討が必要と認識しております。更新計画の策定につきましては、今後、研究してまいりたいと考えております。



選挙について

Q 県内の自治体でも、選挙を実施した自治体があります。本市でも限度額を減額することについて伺います。

2番 朝田 和宏

A 本市の場合、選挙運動用ポスターの1枚当たりの作成単価2,556円に、221枚(ポスター掲示板の数147箇所)に1.5を乗じて得た数(乗じて得た金額564,876円を限度額としています。

このような実態を踏まえ、過去の選挙運動用ポスターの実績金額や、現在作成した場合の金額を調査・分析し、ポスター掲示場の公費負担を見直しする必要があるかどうか、市選挙管理委員会に諮った上で検討してまいりたいと存じます。

